

## 海外安全対策情報 平成28年度第3四半期(平成28年10月～12月)

### 1. 社会・治安情勢

サンパウロの治安は依然として回復の兆しを見せず、サンパウロ市及び周辺の都市においては、拳銃を使用した強盗事件や強盗殺人事件などの凶悪事件が昼夜を問わず多発している。また、パウリスタ大通りを中心に、様々な目的を掲げるデモが継続的に発生している。

### 2. 一般犯罪・凶悪事件の傾向

(1)殺人の発生件数は減少しているものの、邦人被害が多発している強盗や窃盗については増加傾向にある。特に強盗事件については、そのほとんどが拳銃を使用したものであるため、細心の注意が必要である。

#### (2)邦人被害

##### ア 強盗

(ア)10月23日午後10時30分頃、邦人がサンパウロ市ブラス地区ドミンゴス・パイバ通りを歩行中、三人組の賊に首を絞められるなどして襲われ、ズボンのポケットから銀行カード、現金等に入った財布とパスポートを奪われた。その後、賊らはバイクで逃走した。

(イ)11月6日午後2時頃、邦人がサンパウロ市サント・アマロ区ピニェイロス川沿いサイクリングコースを自転車で走行中、突然前方に現れた三人組に自転車を止められた。財布を渡すも、賊が自転車を持ち去ろうとし、その際に服がサドルに引っかかり抵抗した様になったため、賊から木の棒で数回殴打され、裂傷と打撲を負った。

(ウ)12月5日午後7時25分頃、邦人が帰宅途中、サンパウロ市ジャルジン・パウリスタ区ジョアキン・エウジェニオ・デ・リマ通りにおいて、2人組の賊に銃を突きつけられ腕時計を強奪された。その後、賊は財布を差し出すように要求したが、犯行を目撃した近隣住民が警察に通報したため、そのまま逃走した。

(エ)12月15日午後7時頃、複数の邦人がサンパウロ市リベルダーヂ区所在の日本食レストランにおいて飲食していたところ、賊1人が店内に侵入し、客及び従業員に拳銃を突き付け、現金を奪って逃走した。

##### イ 窃盗

(ア)11月15日午後3時45分頃、邦人がサンパウロ市リベルダーヂ区リベルダーヂ通りの中央分離帯において携帯電話のアプリでタクシーの位置を確認していたところ、自転車に乗った男に携帯電話をひったくられた。

(イ)12月27日午前7時30分頃、邦人がサンパウロ市内から郊外へ車両にて向かう途中、タイヤに異常を感じたため、サンパウロ市ベラ・ビスタ区ブリガデイロ・ルイス・アントニオ大通りとペドロゾ通りの交差点付近に駐車して運転手らとともに降車して状況を確認したところ、左後方のタイヤに釘が刺さりパンクしていた。その後、同タイヤを交換して車両に乗り込んだところ、後部座席に置いていた鞆等が盗まれていた。

### 3. テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件の発生は認知していないが、現金を目的とするATMの爆破はサンパウロ市内を中心に多数発生している。

### 4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害は認知していない。

### 5. 日本企業の安全に関わる諸問題

当該諸問題に関する情報には接していない。